

外来診療予定表

平成27年11月更新

医療法人SHIODA塩田記念病院広報誌



塩田記念病院だより

Vol.28 2015年11月号

医療法人SHIODA塩田記念病院 総務課発行 ホームページ: <http://www.s-fmc.jp>
 〒297-0203 千葉県長生郡長柄町国府里550-1 Tel:0475-35-0099 Fax:0475-35-0098

診療科		月	火	水	木	金	土
総合診療部 (内科・外科 内視鏡 等)	午前	塩田総院長 (外科)	住吉 (外科)	★篠崎(内科)第1,2,3 村中(内科)第4 初診受付16:00まで	鈴木 (外科) 初診受付16:00まで	佐久間 (外科)	高橋(内科) 金田(内科)第1 斎藤(内科)第3
	午後	白銀 (外科) 初診受付16:00まで	住吉 (外科) (予約制)			—	—
	午前	長島 (内科)	君塚 (内科) 初診受付16:00まで	君塚 (内科) 初診受付16:00まで	—	正木 (内科) 初診受付16:00まで	大木 第2,4 (内科・肝臓内科)
	午後	—					—
脳神経外科	午前	足立 初診受付16:00まで	青柳副院長	小幡	—	青柳副院長	小幡
	午後		佐藤	小幡 (予約制)		青柳副院長 髄膜腫・ 神経鞘腫外来	—
整形外科	午前	塩田副院長	石井	塩田副院長	塩田副院長	石井 塩田副院長 第1,3,5	石井 塩田副院長 第1,3
	午後	—		石井		塩田副院長 第1,3,5 (脊椎・脊髄外科外来) 石井 第4	—
	午前	—	—	—	—	吉峰 第2,4	山田 第1,3 蔵本 第2,4 金子 第5
	午後	—	—	—	—	金子(予約制)第3 吉峰 第2,4 初診受付16:00まで	—
循環器内科	午前	中津センター長	大橋	森口	高木 〔中津センター長 第3,5(予約制)〕	中津センター長	中津センター長 第1 大橋 第2 森口 第3 高木 第4
	午後	高木	交代制			森口	大橋
婦人科	午前	遠藤院長	遠藤院長	—	—	—	遠藤院長
	午後		遠藤院長 第2,4,5	—			—
サイバーナイフ 外来	午前	—	—	—	宇野	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—
脳神経内科	午前	—	—	太田 第1,3,5	西山 (予約制)	—	—
	午後	—	—	太田 第1,3,5(予約制)		—	—
耳鼻咽喉科	午前	小谷 初診受付16:00まで	—	—	★スミス 第1,3,5 初診受付16:00まで	—	交代制 第1,3,4,5
	午後		—	—		交代制 第2,4 初診受付16:00まで	—
泌尿器科	午前	—	—	—	飯ヶ谷 初診受付16:00まで	—	—
	午後	—	—	—		—	—
皮膚科	午前	—	—	—	—	—	—
	午後	—	河原 受付14:30から	—	—	—	—

★印は女性の医師です。◎赤字は変更となった診療です。◎診療予定は変更となる場合があります。院内『お知らせコーナー』や『ホームページ』または、電話にてご確認ください。◎当日、急遽休診になる場合がありますので、ご了承ください。◎保険証は毎月確認させていただきますのでお持ちください。

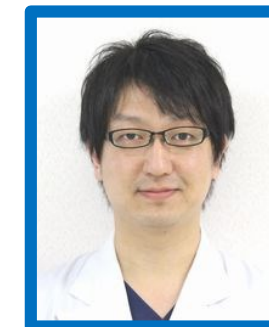
受付時間: (月～金) 8:30～11:30/13:30～16:30 (土) 8:30～11:30

予約専用ダイヤル: 0475-35-0002 (月～金) 8:30～17:00

サイバーナイフ専用ダイヤル: 0475-35-0109 (月～金) 8:30～17:00

佐藤陽人医師から患者様へ

この度、ご縁がありまして東京から赴任して参りました。
 脳神経外科領域の疾患には、脳卒中や脳腫瘍、頭部外傷など様々なものがあります。
 その多様な疾患に対して、熱意を持って診察・診療に臨んでいきたいと思っております。
 また、患者様が病院を受診する際には、辛い症状や不安な気持ちに満ちていると思っております。疾患に対する治療だけでなく、少しでも患者様に寄り添い、その苦痛や不安を可能な限り取り除けるように、最大限に力を尽くして地域に貢献して参ります。
 どうぞ宜しくお願い申し上げます。



脳神経外科
佐藤 陽人

病院からのお知らせ

■皮膚科外来、11月17日(火)よりスタート
 皮膚科外来が始まります。疾患にご不安のある患者様はお気軽にご相談ください。
 【医師】河原 和俊(かわはら かずとし) 医師
 【診療日】毎週火曜日 15:00～(受付時間14:30～16:30)

■脳神経外科診療日変更のお知らせ
 青柳副院長 火曜日終日 ⇒ 火曜日午前
 佐藤医師 火曜日午後
 小幡医師 第1,3,5土曜日 ⇒ 毎週土曜日

■医療公開講座「脳神経外科疾患の治療と取り組み」申込受付中
 【日時】平成27年11月28日(土) 15:00～(受付開始14:30～)
 【会場】塩田記念病院 1階ロビー
 【演題・講師】
 「新たな機器を用いた脳動脈瘤治療～安全で確実な手術のために～」
 脳神経外科 小幡 佳輝 医師
 「手術で治療可能な“認知症と似た病気”」
 脳神経外科 佐藤 陽人 医師
 「脳血管疾患へのリハビリテーション科の取り組み」
 リハビリテーション科 石渡 正浩 理学療法士
 【特設コーナー】
 「頸動脈エコー無料検査」 先着20名
 「脳神経外科医師による個別相談コーナー」
 【申込・問い合わせ】
 0475-35-0031 (月～土曜日9:00～17:00)

参加無料
申込制



■インフルエンザ予防ワクチン接種 予約受付中
 【期間】月・火・水・土 14:00～15:00 ※12月29日まで
 【費用】4,000円 ※公費負担額については、各市町村へお問い合わせください
 【予約ダイヤル】0475-35-0002 (予約センター)

塩田記念病院レポート ～ステント型血栓除去デバイスを使用した脳梗塞急性期治療について～

脳の血管に血栓が詰まると、脳梗塞になり手足の麻痺や言葉がしゃべれない、意識不明になるなど重症になり、命が助かっていても重い後遺症が残ります。

脳の血管に血栓が詰まってから、なるべく早く、血栓を溶かしたり、除去して血液の流れを再開通させることにより、脳の障害を最小限にすることが可能です。

これまで、脳梗塞発症4.5時間以内に血栓溶解剤(t-PA)を点滴静注し、血栓を溶解する方法が行われてきました。しかし、t-PA静注療法では、特に頭蓋内の太い血管の閉塞では血栓が溶解せず、治療効果が十分に得られていないのが現状です。

この問題を解決すると期待されているのが血管内治療による血栓除去です。過去に様々なカテーテル機器が使用されておりましたが、なかなかその治療効果が得られていない状況でした。そうした中で、ステント型血栓除去デバイスが開発され、2014年7月から本邦でも使用可能となり、また、その治療成績が優れていることが2015年2月の国際脳卒中学会や、N Engl J Medでも報告されました。

今年の春、「塩田記念病院でステント型血栓除去デバイスを使用し、脳梗塞急性期治療を行い、極めて良好な成果が得られました。」

患者様は、めまい、嘔吐に続き、意識障害が進行し、救急搬送されました。救急入院後、MRIで脳底動脈閉塞症（脳幹を栄養する血管）と診断しています。直ちに、t-PA静注療法を行いました。効果が乏しく、血管内治療を行いました。ステント型血栓除去デバイスの使用により治療からわずか1時間程度で脳の血管を閉塞していた血栓が除去され血流が再開しました。治療により、患者様の意識はただちに回復、治療4日後には意識清明で、笑顔がみられ、後遺症もほとんどない状態に回復しています。従来の治療法では考えられない画期的な回復を示しています。

茂原・長生、山武地区では、この治療法は今のところ、塩田記念病院でのみ可能です。この治療は、脳梗塞発症から8時間以内に限られています。治療開始も早ければ早いほど効果があります。近隣の病院と協力してより多くの患者さんが治療を受けられる様、工夫をしています。

塩田記念病院副院長
脳神経外科部長 青柳 傑
脳神経外科医師 小幡 佳輝



イベントのご案内

■いきいき教室

【日時】11月18日（水） 14:30～（1時間程度）

【演題】

「感染症に負けない体作り」 リハビリテーション科 長谷川肇・兼岡浩史
「免疫力がUPする食事のポイント」 栄養科 戸矢静華

【会場】塩田記念病院 2階カフェスペース

【問い合わせ先】0475-35-0099（代表） 栄養科 戸矢静華宛

■クリスマスコンサート

【日時】12月12日（土）15:00～

【会場】塩田記念病院 1階ロビー

※詳細は後日、チラシにてお知らせします。

参加無料
申込不要



参加無料
申込不要

リハビリテーションコラム～変形性膝関節症について①～

中高年になってひざが痛くなる病気はいくつかありますが、その中で一番多いのは「変形性膝関節症（へんけいせいしつかんせつしょう）」です。

命にかかわるような重篤な病ではありませんが、ひざが痛いといふたり日常動作などもつらく、悩まされている人はとても多いのです。

変形性膝関節症の場合、その治療は運動療法や日常動作などの生活指導が重要になってきます。変形性膝関節症の場合、一度すり減ってしまった関節軟骨は元に戻ることが難しく、風邪が治るように完全に元の状態に戻せるというものではありません。しかし、痛みがやわらぎ自由に歩けるようになったり普通に生活できるようになるなど、機能を回復してより良い状態にすることは可能です。それを「治った」と考え治療の目標とします。

■治療の方法

治療方法は大きく「保存療法」と「手術療法」に分けられます。

症状の程度などにより治療方法が決められますが、基礎療法はいずれの場合でも必ず行うべきもので、また症状が改善した後もまた悪くならないために継続して行っていく治療法です。

<保存療法>

- 基礎療法：日常生活上の注意、肥満の改善、運動療法
- 薬物療法：鎮痛薬の内服、外用、座薬、関節内注入など
- 物理療法：温熱療法、湿布など
- 装具療法：安定や矯正のための装具使用 足底板、サポーター、杖など

<手術療法>

関節内廓清術、高位脛骨骨切術、人工関節置換術 など

今回は、保存療法のひとつ、「基礎療法」についての解説です。お楽しみに。

リハビリテーション科 理学療法士
石渡 正浩



栄養士のひとりごと

今月取り上げるのは「カブ」です。

カブの生産高は毎年千葉県が断トツ1位であることを皆さんご存知ですか？そんな身近なカブについて今回はお話しします。

カブはアブラナ科の一種で白菜やキャベツと同じ仲間である春の七草（すずな）のひとつでもあります。根は淡色野菜、葉は緑黄色野菜に分類され、ひと株でどちらの栄養も摂取できるお得な野菜です。

具体的に有効な成分についてお話しします。根の部分は消化酵素のアミラーゼを多く含み、胃もたれや胸やけ解消、整腸効果が期待できます。葉の部分はβカロテンをとっても多く含み免疫作用があります。

またビタミンAに変換され髪や粘膜・皮膚の健康維持や視力、呼吸器を守る働きも期待できます。ビタミンCも多く含み、冬の時期の風邪予防や疲労回復・肌荒れにも効果的です。そのほかにもカルシウムやカリウムを多く含みます。

これら有効成分を効率よく摂る調理法としては、スープ煮やシチューなど、煮込んで煮込んだ汁も一緒に摂れる調理法がおすすめです。

鶏肉やキノコ類、同じくカルシウムなどを多く含むカリフラワーなどと牛乳で煮込んで美味しく召し上がれます。

上記のような栄養素をなるべく維持するためにも保存方法が大切です。大根なども同じですが収穫や購入後はすぐに葉を切り落とし、別々に保存し密封して冷蔵庫で保存しましょう。つけたままにしておくと根の部分の水分や栄養分が葉に吸い取られてしまいます。

ただしカリウムを多く含むため、医師から腎機能低下を指摘され摂取を制限されている場合には注意が必要です。管理栄養士にご相談ください。

風邪の季節となりますがご自愛くださいませ。
次回もお楽しみに。

栄養科 戸矢 静華

